



メールマガジン

2007年8月号 (Vol.2 No.8)

2007/8/30

目次

○ トピックス

九州大学農学研究院南石晃明教授一行が中国人民大学を訪問
東アジア農業資源環境フォーラム協議会を開催
北京航空航天大学「大学生芸術団」と九大フィルの交流公演を開催
九州大学農学研究院南石晃明教授と前田幸嗣準教授 来所

○ 2008年オリンピック特集

○ 九大人

何氏眼科医院院長 何 偉

○ 中日最前線

○ Q-ナビ

事務所だより

立秋とは名ばかり、いまだ暑さが続いておりますが、OB たちの皆様は、いかがお過ごしでしょうか。何れにせよ 暑さ続きに身体の弱っておりますこととて、これからの残暑はひとしお応えるようでございます。どうぞくれぐれもご自愛下さいますよう、お願い致します。まずは残暑お見舞い申し上げます。

さて、今年の年末に、九州大学北京事務所は、在中国九州大学同窓生名簿の発行に向けて取り込んでいるところです。当メルマガが第六期に「在中国九州大学同窓生名簿 作成中」という記事が掲載されて以来、OB たちに多大なご協力やご助言をいただきながら、情報募集を順調に進めています。この場を借りて厚い感謝の意を申し上げます。しかし、発行期限を間近に控えていますが、OB 方の勤務先の転換、メールアドレスや電話番号 などの変更によって、まだ一部のOB 方に返事を頂いていません。より多くのOB 方の情報を名簿に載せるために、OB の皆様に引き続きご協力お願いいたします。ご多忙なことと存じておりますが、OB 登録シートを速くご返信、またはOB 登録の ご存知のない九大のOB にお知らせくださりますようお願い申し上げます。ご協力、ありがとうございます。

ご返信くださる場合は、電子メールまたはファックスにて、九州大学北京事務所宛 にお送りください。

編集代表者:九州大学北京事務所長 九州大学中国同窓会事務局長 宋 敏

発 行:九州大学北京事務所 九州大学中国同窓会事務局

住 所:〒 100086 北京市海淀区中関村南大街甲6号鑄誠大厦B座2008室

電 話:+86-10-5158-1387 ファックス:+86-10-5158-1367

メー ル:peiking_office@yahoo.co.jp (日語)

kyudai_ob@kyushu-ucn.net, kyudai_ob@126.com (中文)

トピックス

1

九州大学農学研究院南石晃明教授一行が中国人民大学を訪問

8月21日(火)午前中、日本九州大学農学研究院農業資源経済学部門南石晃明教授と前田幸嗣準教授が中国人民大学農業と農村発展学院を訪問し、中国人民大学国際交流処長唐忠教授、農業と農村発展学院副院長曾寅初教授、および王志剛準教授と会談した。双方は九州大学側が提案したフードシステム 科学教育研究拠点とする「アジアアグリフードシーベルト 戦略」について議論し、さらに 興味ある学術研究について意見交換した。双方は今年11月中旬中国人民大学農業と農村発展学院で「中国人民大学—九州大学における農業発展国際シンポジウム」を開催することを決め、具体的な会議の要領等をお互いに確認した。日本九州大学北京事務所所長、中国農業科学院農業資源と農業企画研究所宋敏教授が同行で来校した。



2

東アジア農業資源環境フォーラムの協議会 を開催

8月21日(火)午後、第三回東アジア 農業資源環境フォーラムの開催に向けて、このフォーラムの開催準備及び今後の発展を巡る協議会が北京翠宮飯店にて開かれた。今回の協議会議には、中国の環境保全型農業研究チームのメンバーの他、日本学術振興会北京事務所の福西所長、鶴尾副所長、中国農業部の科学技術国際交流担当者、九州大学農学院の南石教授、前田準教授も出席した。中国農科院の宋敏教授が第三回東アジア農業資源環境フォーラムの開催要領(案)などについて紹介し、参加者全員で、ディスカッションし、幅広く意見交換を行った。また、JSPSと中国農業部と協力して、このフォーラムを継続的に開催することを前向けて検討することに意見一致。



■ トピックス ■

3

北京航空航天大学「大学生芸術団」と九大フィルの交流公演を開催

8月21日(火)北京航空航天大学「大学生芸術団」18名及び譚振亜常務副書記を代表とする教員12名が九州大学を訪問し、九大フィルハーモニーオーケストラと交流公演を開催した。中国国内の芸術公演大会で数々の受賞歴を持つ北京航空航天大学「大学生芸術団」は、二胡や揚琴などの民族楽器や民族舞踏などを披露し、九大フィルは、木管や弦楽などのアンサンブルステージを行った。公演後の歓迎パーティーでは、両大学の参加者が笑顔で交流したが、音楽や北京オリンピックの話題などで会話も弾み、学生同士がアドレスを交換し合うなど、イベントの成功を物語った。「2007日中文化・スポーツ交流年」にあたる今年、両大学間でこのような音楽交流が実現したことは、九州大学にとって貴重な財産となった。



黒管八重奏



両大学で記念撮影



民楽団

4

九州大学農学研究院南石晃明教授と前田幸嗣準教授 来所

8月20日(月)から8月23日(木)にかけて、日本九州大学農学研究院農業資源経済学部門南石晃明教授と前田幸嗣準教授が、中国との共同研究の打ち合わせのため、来京。中国人民大学への訪問や、東アジア農業資源環境フォーラムの協議会を終えて、8月21日に仕事の隙を縫いで北京事務所を訪れた。北京事務所の運営現況や方針などについて、宋敏所長と情報交換を行い、今後の協力を意見交換した。



南石教授との記念撮影



前田準教授との記念撮影

■2008年オリンピック特集■



この特集は、2008年五輪に注目し、今から開催までの最新情報、マスコット、関連施設紹介または主開催地である北京での観光や娯楽を皆さんに紹介致します。寄稿や意見などはe-mailでお送りください。

最新情報



北京、17日～20日にナンバー別通行規制を試験

http://j.peopledaily.com.cn/2007/08/10/jp20070810_75067.html

車の大気汚染を減少、北京で自転車5万台をレンタル

http://j.peopledaily.com.cn/2007/08/20/jp20070820_75525.html

北京五輪のチケット販売、割当段階に

http://j.peopledaily.com.cn/2007/08/07/jp20070807_74901.html

北京五輪、閉幕式のため、全世界の子供の笑顔を募集

<http://japanese.cri.cn/151/2007/08/14/1@100662.htm>

五輪誘致の承諾——7つの緑化事業がすべて実現

<http://japanese.cri.cn/151/2007/08/08/1@100320.htm>



関連施設紹介



国家体育館の鳥瞰図

2008年オリンピックの主要な競技会場の1つである国家体育館は、敷地面積が2.49万平方メートル、延べ床面積が8.09万平方メートルを誇る。2008年五輪の体操やハンドボールの競技で用いられる。同体育館は2005年5月28日に着工した。今年10月に完工するとみられている。

2008年五輪後、国家体育館はスポーツ競技や文化エンターテインメントなどを開催する機能を備える市民活動センターになるという。

マスコット紹介

妮妮(ニイニイ)のイメージ:ツバメと燕の形をした凧(たこ)。五輪の緑の輪にあたるもの。



妮妮



北京・東眺西望

北海公園は北京の中心部に位置し、最も長い歴史をもち、最も完全な形で残る皇室庭園の1つ。千年近い歴史がある。



面積は69ヘクタール。琼華島は樹木に覆われ、宮殿や仏閣が並び、亭や樓閣が交錯して趣がある。中央に聳える白塔はまさに、北海公園のシンボリック的存在。湖岸をめぐる垂れ下がった柳が湖に映して美しい。見所は、画舫齋や静心齋、天王殿、快雪堂、九竜壁、五竜亭、小西天など数多い。皇室の庭園としての華麗さと、宗教寺院の荘厳さを兼ね備えた北海公園。変化に富む景色や事物が渾然一体となった中国庭園芸術の至宝である。

■ 九大人 ■

時計の針が止まらず
歳月がここに留まる
九州大学北京事務所
九大人がここにいる

本コーナーでは、ミニ事典、現場直撃レポート、インタビュー、奮闘記などの側面から、九大OB及び九大の先生や教職員を描きます。人選は事務所で選ぶと同時に、ご紹介になりたい方も募集。投稿はE-mailでお送りください。可能な限り掲載しますが、本誌の目的や性格に照らして不相当と思われる内容は掲載しません。

何 偉

☆☆☆☆☆

中華医学会眼科学会委員
中華医学管理学会理事会理事
何氏眼科医院院長
医学博士



足跡

1979年9月—1984年8月 中国医科大学本科課程修了、卒業
1986年8月—1987年10月 中国医科大学臨床眼科修士課程に在籍
1993年3月 九州大学医学部眼科博士課程修了、卒業
1993年4月—1995年7月 福岡大学医学部で眼顕微外科医師を担当
1995年12月 瀋陽何氏眼科医院創立 院長
1999年9月 瀋陽医学院何氏視覚科学学院創立 院長
2001年 大連医科大学何氏眼科研究院創立 修士指導官を担当
2002年6月 大連何氏眼科医院創立 院長
2005年10月 瀋陽緑谷生物技術産業有限会社 社長

インタビュー

- Q1：先生が日本で医学を勉強するきっかけは何でしたか。
A1：中国では医学大学の修士課程に在籍している時、中国政府派遣の留学生として選ばれたことは、九大で医学を勉強するきっかけとなったのです。
Q2：九州大学あるいは福岡で思い出に残っていることは、ありませんか。
A2：教育面では指導して下さった眼科の猪俣先生が印象深いです。研究の自由を与えてくれ、いろいろな面で応援してくれました。生活面では、博多区にある大島眼科医院の松井院長と出会い、大変お世話になりました。纏めて言えば、九州の風土や人間性は中国東北部出身の人間にとって親しみを感じさせるものです。
Q3：内陸部で無料診療を行っているそうですが、それはどういう考えからですか。
A3：たまたま、中国には白内障患者が大勢いるが、手術を受けられる人が極めて少ないと言われていました。中国には私が日本で学んだことは、街中で偉い人だけを手術するためにはないとその時決心し、農村を周るようになりました。
A4：最後に、留学生の後輩たちに伝えたいメッセージは？
Q4：留学生には自分の国を愛すればこそ、日本を愛するということ覚えておいてもらいたいです。学術はもちろん、日本人の心、日本の文化もきちんと勉強して、将来自分の国のために役立ててほしいと思います。

■ 中日最前線 ■



ようこそ！中日最前線は、今月の焦点、流行傾向、最新動き、注意喚起などのテーマで、さまざまな記事やニュースを収集し、みなさんにお届けします。さあ～お読みになってのご意見、ご感想やアドバイスをお待ちしております。

最新動き

北京のタクシー、「ミニ通訳サービス」で乗客と会話

北京のタクシー会社・首汽集団のタクシーに装備された通訳端末システム「ミニ通訳」が15日に運用を開始、乗客との外国語でのコミュニケーションが可能となった。首汽集団は同日、「グッドラック 北京」(オリンピック前の競技運営テスト)用に配備されたタクシー40台に「多言語通訳サポート端末システム」を装備した。英語、日本語、韓国語の3言語を話す乗客が乗った時、タクシードライバーは通訳センターホットライン(52600158)に電話、無料オンラインを受ける。乗客はマイクで通訳センターと通話、電話通訳サービスを受けることが可能。

http://www.pekinshuho.com/ly/txt/2007-08/17/content_72985.htm



注意喚起

家庭教育に新課題を

27日に、中華全国婦人連合会の会議では、中国には親たちに子育てのノウハウを教える学校が43万ヶ所あり、また、家庭教育指導センターが11万ヶ所あることから、全国をカバーする家庭教育ネットワークがほぼ完成したことが明らかになった。また、婦人連合会 顧秀蓮議長は中国家庭の構造や親の教育観念などの変化によって、家庭教育指導とサービスに新課題をもたらしたと言った。

http://news.e21.cn/html/2007/itjy/50/20070828094232_11882653521360713969.htm

今月の焦点

若者の思想交流

第26回中日学生会議、北京で開催

両国の大学生の相互理解を深めるため、率直に意見を交換できる場を提供することを目的とした「中日学生会議」が17日、北京の對外経済貿易大学で開催された。「中日学生会議」は1986年、東京で学生有志による運営委員会が発足し、翌1987年、第1回会議が開催されている。以来、ほぼ毎年、中国と日本、交代で開催してきた。今年は26回目、中国での会議であった。

中日両国の大学生は、「教育問題」「金融問題」「お互いの価値観」など、それぞれ興味は違うが、共通して「実際に会って、直接お互いの声を聞いてみたい！」という思いを抱いているようであった。今回の会議に参加した大学生だが、日本からは12大学・24人、中国からは10大学・26人、あわせて50人となっている。約2週間の日程で、北京と広東省・広州の2箇所で行う。

<http://japanese.cri.cn/205/2007/08/23/1@101341.htm>

北京大学と東京大学共催の第2回「京論壇」が開会

北京大学と東京大学が共催する第2回「京論壇」(京フォーラム)の開会式が27日北京大学で行われた。これには両大学からの12人の学生合計24人が、経済、歴史、安全保障と環境の4つの分科会に参加する。このフォーラムは、北京大学と東京大学の2つの会場で開かれ、今年は

27日から9月1日まで北京大学で開かれ、その後24日から10月1日までは東京大学で開かれる。このフォーラムの組織者の1人加藤嘉一さんは、「去年に続いて中日両国の学生はこの4つの分野で踏み込んだ議論をおこなうよう願っている」と語っている。なお、このフォーラムは、去年から開かれ、これから毎年開催する。

<http://japanese.cri.cn/205/2007/08/27/1@101573.htm>



■Q-ナビ■



Q-ナビコーナーは、情報カレンダー、今月の見どころ、九州知恵袋、旬の味等のテーマで、九州大学、九州などを中心として、日本と中国に関する情報を発信します。皆さんにも役に立つ情報を募集致します。寄稿は、e-mailにてお送りください。

情報カレンダー

- 8月1日 「日本留学試験を利用した渡日前入学許可」と私費外国人留学生学習奨励費給付制度について(お知らせ)
http://www.jasso.go.jp/eju/tonichimae_and_shoureihi.html
- 8月3日 2007年度日本留学フェア開催日程等
http://www.jasso.go.jp/study_j/2007fair_j.html
- 8月20日～9月30日 「日中青少年“明日(あした)”アニメ・漫画展」作品募集
http://www.cn.emb-japan.go.jp/cul_edu_j/events070820_j.htm
- 8月27日 2007年度「国家優秀自費留学生奨学金」項目学生募集中
<http://www.csc.edu.cn/gb/readarticle/readarticle.asp?articleid=2580>
- 9月1日 「教育部直轄の6校師範大学学生に教育費無料実施方法」によって秋に入学人数10933人
http://www.jyb.com.cn/xwzx/gdjy/sxkd/t20070827_108324.htm

今月の見どころ

-  9月23日 「二胡縁in西安」
http://www.cn.emb-japan.go.jp/cul_edu_j/events070923_j.htm
-  9月26日 日中伝統芸術交流 白翔会北京公演
http://www.cn.emb-japan.go.jp/cul_edu_j/events070926_j.htm

盂蘭盆会



精霊流し

盂蘭盆は中国で成立したとされる盂蘭盆経という仏教の経典に書かれた釈迦の弟子の目蓮が地獄に堕ちた母親を救い出すために衆僧に食事を振る舞い、供養したという孝行説話が起源だといわれる。この供養した日が7月15日だったことから、この日は先祖の霊を供養する日となったわけである。お盆の時期は地方によって違うが、現在月遅れの新暦8月15日は一番盛んなようである。中国では、旧暦7月15日は中元節と言い、また鬼節とも言う。先祖の霊を供養する日。言い伝えによると、この日、地獄の大門が開き、冥土の鬼の魂が外に出てくるそうで、主を持つ鬼はその家に戻り、主なき鬼はあちこちで道楽の限りを尽くすと言われている。



阿波踊り(徳島)

盆の入り(13日)の夕方、家の前で火を焚き祖先の霊を迎える。これが迎え火。盆明け(16日)の夕方に火を焚いて祖先の霊を帰す。これが送り火。このほか、お盆の最も大きなイベントは、盆踊りを踊ること。徳島県の阿波踊りは特に有名。



大文字の送り火(京都)